

後者世鳳凰
江戸

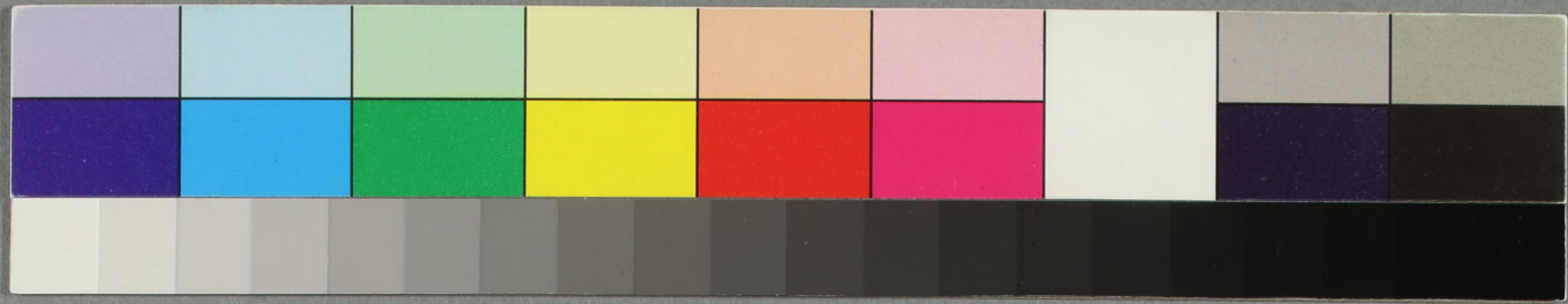
後者世鳳凰
大坂

後者世鳳凰
京

率賓

特別
手 13
3849
46





門 13
院 3849
巻 46

46

後者世鳳凰



京之甚

瀉岩

目錄

子に外

寅小

起

若女形此

樂屋入



是ら

さきいふ

髪乃敷

げり敷

きれぬ

上上吉の

馬牡丹

系白系二葉居也優者同保

名代 布衣倉橋 万石 彦平 小倉 峯崎

名代 早雲 長次 彦平 松山 小源次

▲立役之部

○乃之堂社名と云はるるたのぞ

上上吉 嵐 吉之布 倉原

一石の立名と云はるる

上上吉 尾上 新七 松山

弾丸 出柳

上上吉 中村 十彦 小倉

欲と云はるる

上上吉 尾上 松助 尾上

腕 肘本

上上吉 笠原 又九郎 尾上

仗 丸

上上 清尾 忠彦 松山

つ 松山

上上 深松七之部 松山

藤のこまれへ行くところ 階 松山

上上 中村京十部 松山

市方八人とも上 備破風 松山

上上 中村正又部 松山

こまのあまをどちとまびく 認置板 松山

上上 嵐 後十部 松山

一夜のあまう角の目とりの隅 差 松山

上上 菅 之保本佐左部 松山

こまのあまをどちとまびく 杉板 松山

▲実忍之部

上上 菅 七又部 松山

うましく刀をさへぬ 裏板 松山

上上 山本佐左部 松山

仕ぬくこまのうまぬ 土臺 松山

▲款役之部

上上 青羽次部 松山

名改と松ととも 波板 松山

上上 中村七彦 松山

初よりよへぬ 伸板 松山

上上 沢村國十部 松山

一味も刺ハ 足臺 松山

上上 中村吉十部 松山

こまのあまをどちとまびく 風窓 松山

上上 尾上勘四部 松山

ろくろのあまをどちとまびく 象鼻 松山

上上 坂東國又部 松山

ちのあまをどちとまびく 切目椽 松山

上上 嵐 高彦 松山

りそめとまをどちとまびく 麻板 松山

上上 尾上宗九部 松山

初よりよへぬ 母屋 松山

上上 小倉山三千彦 松山

上上 沢村正又部 松山

上上 市川 祐松 松山

上上 沢村与市 松山

上上 松本友十部 松山

役抽 藤原一ツまひ色のあり 織

上上 藤原也 三 小倉岩

上上 藤原也のあり 教身の 紅梁

▲若女歌之部

上上吉 坪川みさと 棟木

上上吉 嵐 小六 小倉岩

上上吉 嵐 小六 小倉岩

上上吉 若川山 吾 石

上上 山下八百彦 小倉岩

上上 松山小源次 扇橋

上上 山下系之助 向科

上上 中村八重八 小倉岩

上上 中村八重八 小倉岩

上上 中村八重八 小倉岩

上上 中村八重八 小倉岩

上上 中村八重八 小倉岩

上 中村松を助 日流

上 三井治部吉 日流

上 小倉山忠 橋

上 中山花 里

上 小倉山忠 橋

上 中山花 里

上 小倉山忠 橋

上 中山花 里

上 小倉山忠 橋

上 中山花 里

上 小倉山忠 橋

上 中山花 里

上 小倉山忠 橋

上 中山花 里

上 小倉山忠 橋

上 中山花 里

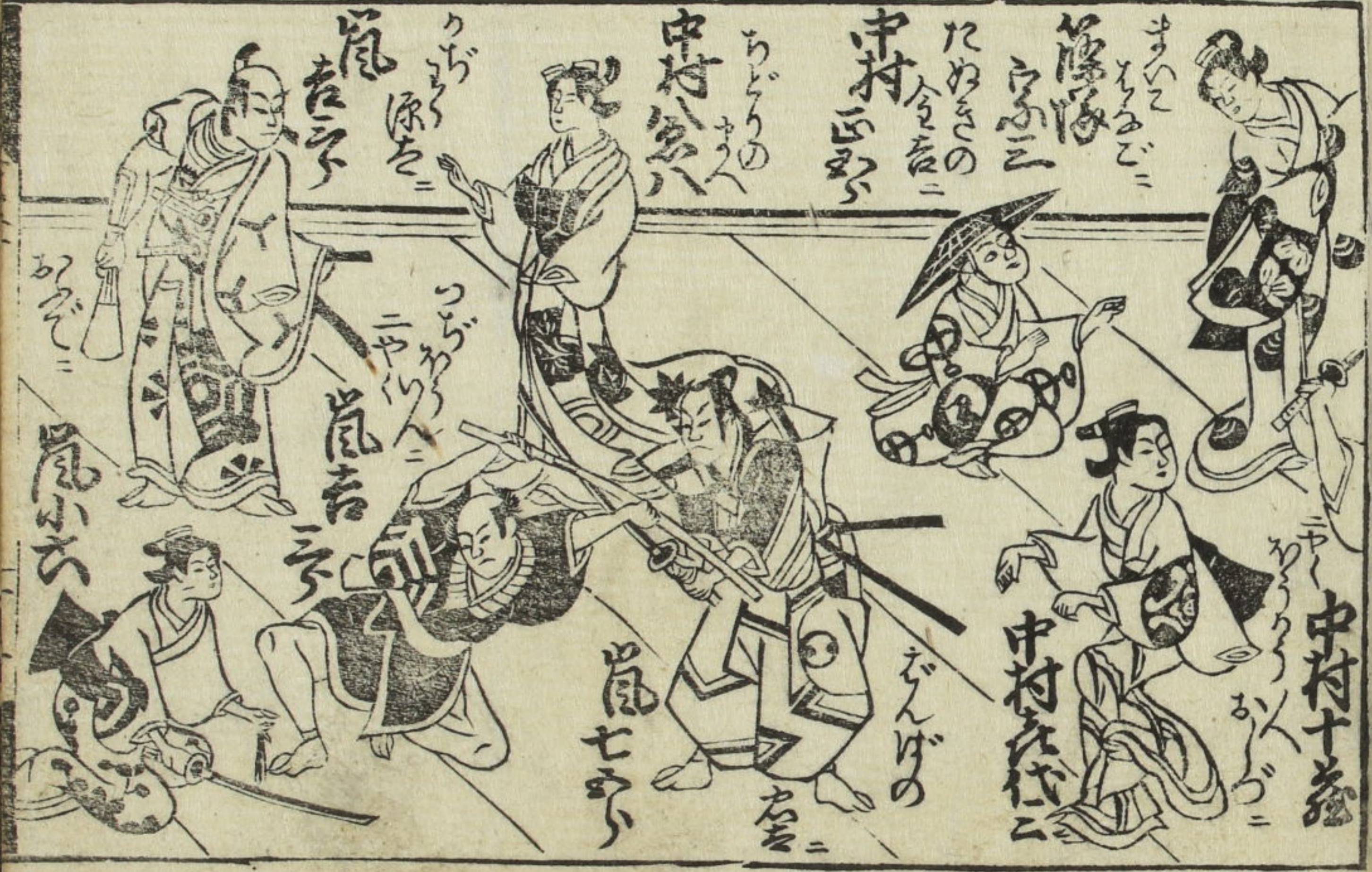
上 小倉山忠 橋

防共の爲に海軍を擴張せしむるに當りては
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て

中まゝに海軍を擴張せしむるに當りては
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て
其の中心に在りては海軍の擴張を以て



中一村十彦



わろたはる小念ふことつゝも法をたれり
心も目も松の葉をまきまき

国分寺

安永六年

西心月吉日

系三系寺町

心奉屋九系系板

系三系寺町

八系屋八系系板

後者世鳳凰 藝品定

大坂之巻

目錄

印つらりと

展て

あな殿秋の

しる

付

うしつて

年亥と

酒ぐれ

彈刺小

強もみるの

賑い

お小敷る

樽殺

大坂乃松崎三芝居後者惣目録
各代 塩屋九左衛門 尾平 嵐七之助
各代 大坂右左衛門 尾平 小川吉太郎

○乃々立之日はく

惣巻頭

上吉 巖 嵐 雛助 小川

はるの仕方のたのしみ氷の様

▲立役之部

極上吉 尾上菊又市 小川

上よりよき者てころよ

真上吉 中山文七 嵐

うまうまふお例とくまぬか

大上吉 三津又市 小川

根ぐしものぶらうと

大上吉 中村秋吉 嵐

ゆんで乃てゆまぬぼつ

上上吉 中山末助 嵐

上トのこゑころのよ

と男

世 大武

上上吉 鼠 文又布 鼠元

ウツムウツム...

上上吉 及川柳 鼠 小川元

ウツムウツム...

上上吉 沢村宗十郎 鼠元

ウツムウツム...

上上吉 鼠 二十郎 鼠元

ウツムウツム...

上上 鼠 七之郎 元平

ウツムウツム...

上上 之井地 人 小川元

ウツムウツム...

上 鼠之丞 鼠 上 善次郎 鼠元

上 中村源次郎 鼠 上 鼠 十二郎 鼠元

上 坂本之丞 鼠 上 相井吉彦 鼠元

上 岩村熊彦 鼠 上 大台美十郎 鼠元

上上吉 実西之部 鼠元

上上吉 法尾お十郎 鼠元

上吉 坂东岩又郎 小川元

ウツムウツム...

上上吉 中村治市之 鼠元

ウツムウツム...

上上吉 相山段次 鼠元

ウツムウツム...

上上吉 坂田来彦 小川元

ウツムウツム...

上上 之井松又郎 小川元

ウツムウツム...

上上 中村友十郎 小川元

ウツムウツム...

上上 松本治市之 鼠元

ウツムウツム...

上上 山下东九郎 鼠 上 坪川善彦 鼠元

上上 之井信彦 鼠 上 尾上在幸 鼠元

上上 中上之八 鼠元

ウツムウツム...

▲祝仁方之始

上上 後川十郎幸泉 小川元

▲苑車方之始

上上 後川金十郎 元

▲若女飛之始

上上 沢村五右衛門 小川元

上上 婦川大吉 元

上上 尾上冬木助 元

上上 三井徳次郎 小川元

上上 苑桐老松 元

上上 山科甚志 元

上上 嵐 雛次 小川元

上上 中村玉柏 小川元

上上 市川吉太郎 元

上上 嵐 松次郎 元

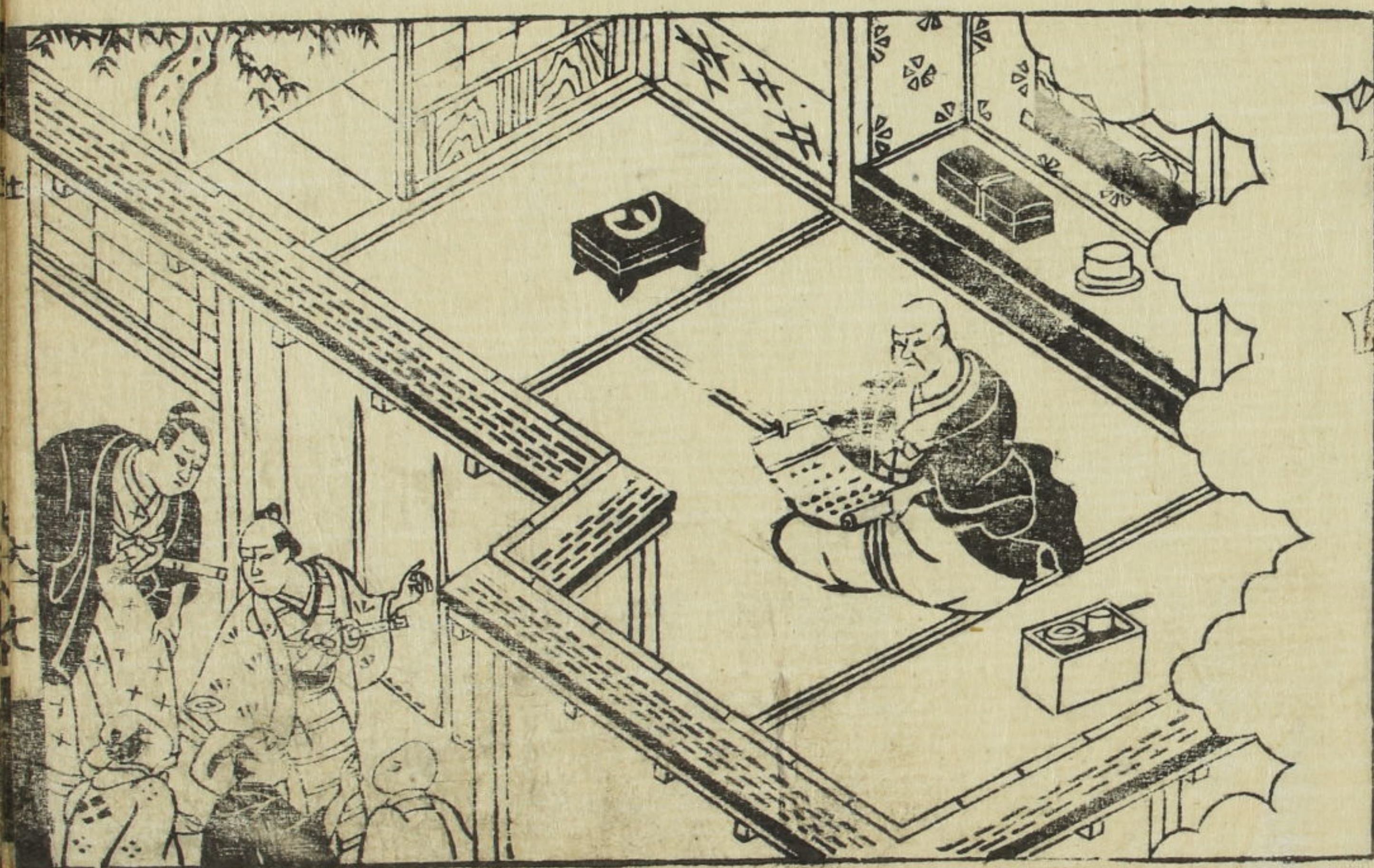
上上 沢村子多 小川元

上上 中村樵又次 元

上上 嵐 雛次郎 小川元

上上 小川子菊 小川元

上上 三井 杉之丞 小川元



川 惠徳藏山海為物 小川 三陸

大元 二林叔



三林叔

ひげのちいさ



中村の柏



ちいさ



人死外三

飯田



わらわ村



山科長

あつた門

三林叔



三林叔



小川

吉原



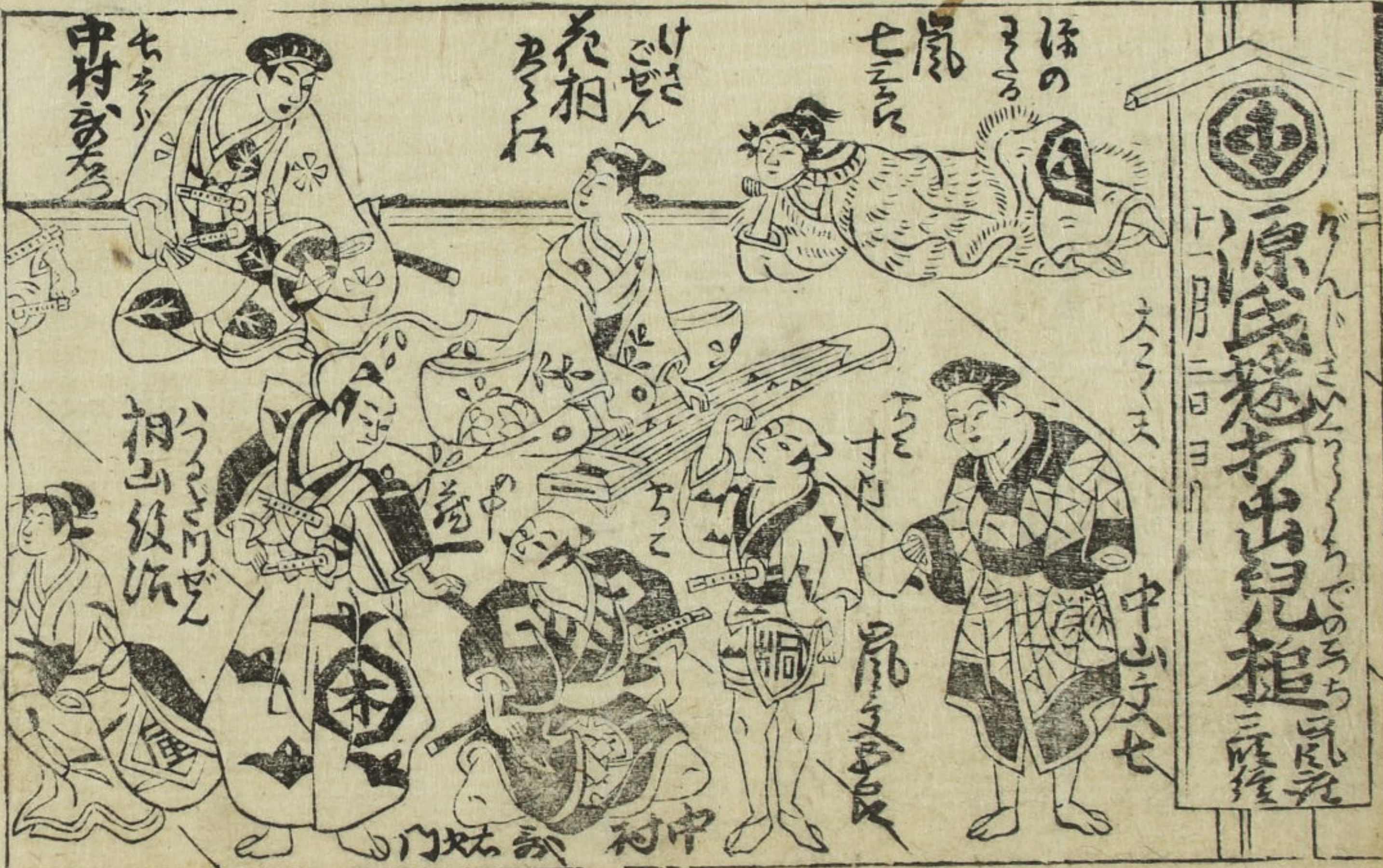
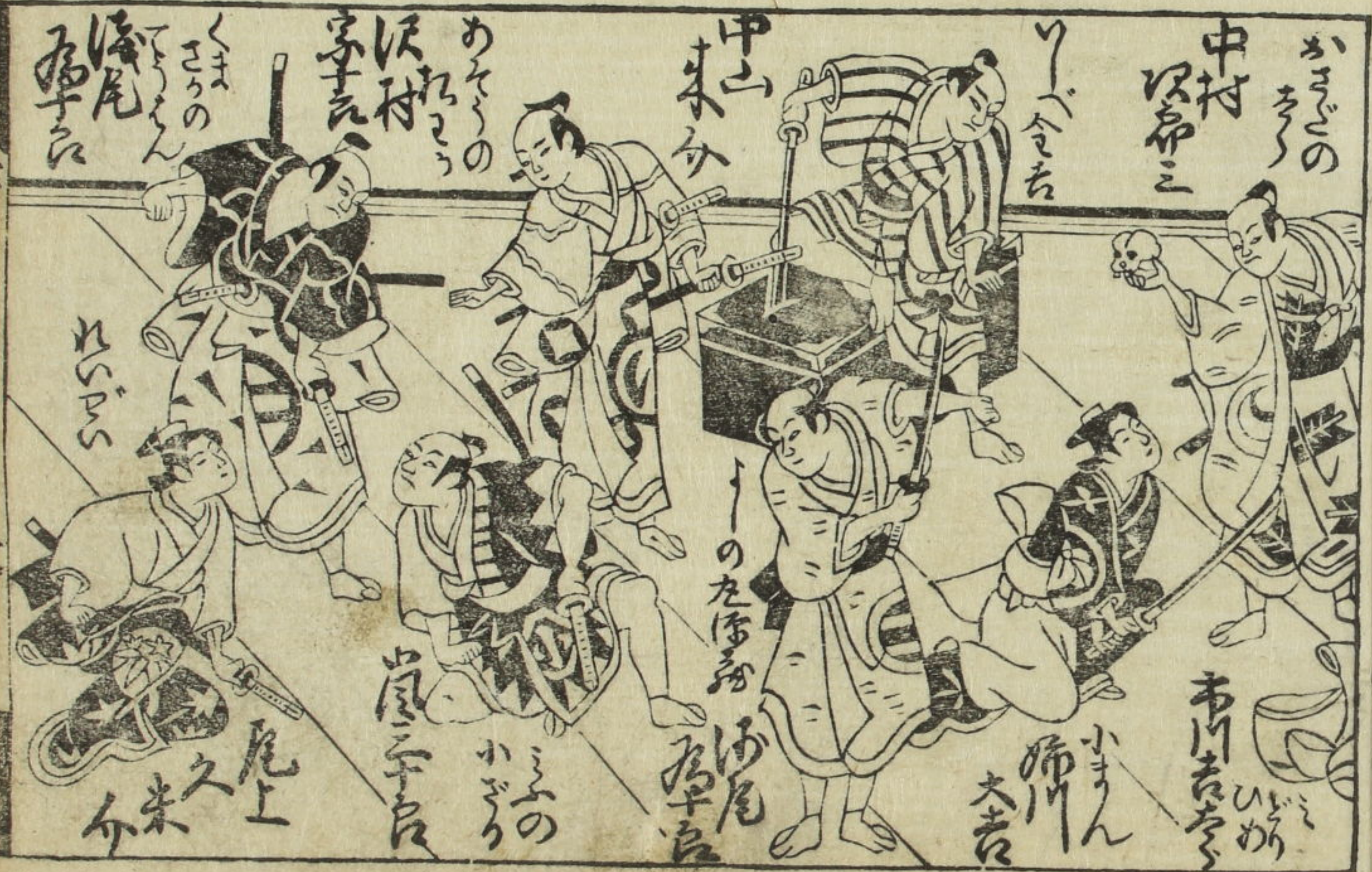
三林叔

あつた門

わらわ村



吉原



○（印） 上上 三井松又市 小川
○（印） 上上 中村友十市 小川
○（印） 上上 松本治良之 小川
○（印） 上上 江戸坂正房 小川

○（印） 上上 中村友十市 小川
○（印） 上上 松本治良之 小川
○（印） 上上 江戸坂正房 小川

○（印） 上上 中村友十市 小川
○（印） 上上 松本治良之 小川
○（印） 上上 江戸坂正房 小川

○（印） 上上 中村友十市 小川
○（印） 上上 松本治良之 小川
○（印） 上上 江戸坂正房 小川

▲若女形之部

上吉 ○（印） 沢村團右衛門 小川


○（印） 上上 中村友十市 小川
○（印） 上上 松本治良之 小川
○（印） 上上 江戸坂正房 小川


○（印） 上上 中村友十市 小川
○（印） 上上 松本治良之 小川
○（印） 上上 江戸坂正房 小川

上上吉 ○（印） 岸川丈吉 小川


○（印） 上上 中村友十市 小川
○（印） 上上 松本治良之 小川
○（印） 上上 江戸坂正房 小川


とあるは後にはあつた事なりと云ふ事
仕らぬ事なり

上上士  嵐 雄次 小川

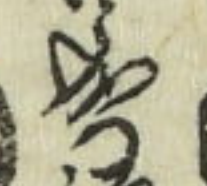
 嵐 雄次 小川
此の嵐は嵐の字を自筆に雄次は後
受の字を自筆に雄次は自筆に雄次


上上  中村 玄一 小川

 中村 玄一 小川
此の玄一は中村の字を自筆に玄一は自筆に玄一


上上  市川 玄一 小川

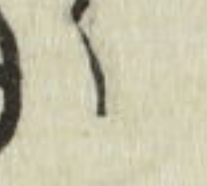
 市川 玄一 小川
此の玄一は市川の字を自筆に玄一は自筆に玄一

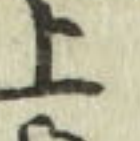
上上  嵐 松次 小川


 嵐 松次 小川
此の松次は嵐の字を自筆に松次は自筆に松次


上上  沢村 玄一 小川


 中村 玄一 小川
此の玄一は中村の字を自筆に玄一は自筆に玄一


上上  嵐 雄次 小川

 嵐 雄次 小川
此の雄次は嵐の字を自筆に雄次は自筆に雄次


上上  小川 玄一 小川

 小川 玄一 小川
此の玄一は小川の字を自筆に玄一は自筆に玄一


上  三井 松之丞 小川

 三井 松之丞 小川
此の松之丞は三井の字を自筆に松之丞は自筆に松之丞

▲子役部

上  尾上 西之助 小川

 尾上 西之助 小川
此の西之助は尾上の字を自筆に西之助は自筆に西之助

上  市川 玄一 小川

 市川 玄一 小川
此の玄一は市川の字を自筆に玄一は自筆に玄一

○一寸くちをりてりよまなり

素皇之津扇 平うろろ入 全部五冊

遣放之番續 平うろろ入 日五冊

浮世之入 平うろろ入 日五冊

端語別世界 平うろろ入 日五冊

古今復者大全全冊 鷓鴣石 あひまのり 全冊

新刻復者綱目日冊 蝶野耶抗 あひまのり 全冊

復者全書 日冊 復者多占 あひまのり 日冊

寄舞妓支始日冊 耳塵集 日冊

俳諧玉藻集 夜半亭ササ村隠 全七冊

芭蕉翁付合集 夜半亭ササ村輯 全七冊

俳諧五子稿 菅原舎大音風 全七冊

右ハま末 言水 素堂 泊徳 末山
多子のかつを教多ありむ
右何下出し出来仕は出来は是なり

大江中甚居物復者同編

復者 中山梅彦 日冊 嵐 伊八

日冊 三株地彦 日冊 嵐 全書

日冊 中山友九郎 日冊 尾上松之助

日冊 中山春彦 日冊 坂东市松

立復 菅野信彦 日冊 中村常彦

立復 菅野信彦 日冊 谷村常彦

日冊 菅野信彦 日冊 市川万右

日冊 菅野信彦 日冊 市川万右

日冊 菅野信彦 日冊 市川万右

日冊 菅野信彦 日冊 市川万右

日冊 菅野信彦 日冊 市川万右

日冊 菅野信彦 日冊 市川万右

日冊 菅野信彦 日冊 市川万右

日冊 菅野信彦 日冊 市川万右

日冊 菅野信彦 日冊 市川万右

立役たちやくよ

きりぎりす

あき

じんしき

いしな

戌いぬの

卯うさぎ

辰たね

江戸之芝居の役者目録

さくら下 中村勘之丞なかむらのかんのじやう 市村右兵衛いちむらゐべゑ

とびき下 市村羽左衛門いちむらゐだざゑもん 赤田勘次あかたのかんじ

▲立役之部

○江戸之芝居の役者目録

上上吉 市川團十郎いちがわだんじゅうらう 市村いちむら

又代またしろの名目ななめ平次へいじ 市村いちむら

上上吉 嵐あらし 三又さんまた 市村いちむら

市川八百いちがわやっぴやく 市村いちむら

上上吉 坂東三津ばんとうみつ 市村いちむら

女中にやうちゆうののあつあつここみみああききここららああききああきき

上上吉 坂東三津ばんとうみつ 市村いちむら

吉きちののああききここららああききああきき

上上吉 大谷おほや 市村いちむら

市村いちむらののああききここららああききああきき

上上吉 沢村長十郎さわむらながじゅうらう 市村いちむら

市村いちむらののああききここららああききああきき

上上吉 富沢屋十郎 市村

上上吉 坂本又右衛門 中村

上上 山科江布十郎 市村

上上 坂本三八 中村

上上 尾上段三郎 市村

上 尾上政 市村

上 山下又右衛門 市川

上 市川保太郎 市川

上 坂本吉蔵 中上尾上叶中

上 中村茂幸 中上市川中

上上吉 中村俊彦 中

上上吉 市川園 中村

上上吉 中村南太郎 市村

上上吉 大谷友太郎 市村

上上吉 中村剛又郎 市村

上上 沢村俊又郎 市村

上上 松本小次郎 市村

上上吉 坂田守又郎 市村

上上吉 坂田守又郎 市村

上上吉 松本幸四郎 市村

▲実悪之部

上上吉 中村伸 市村

上上吉 市川園 中村

上上吉 中村南太郎 市村

上上吉 大谷友太郎 市村

上上吉 中村剛又郎 市村

上上 沢村俊又郎 市村

上上 松本小次郎 市村

上上吉 坂田守又郎 市村

上上吉 坂田守又郎 市村

上上 中 初 五 為 齋 齋

上上 市川 絶 石 為 日 辰

上上 中 村 津 多 石 為 中 村 石

上上 松 本 大 七 日 辰

上上 之 國 富 士 又 市 日 辰

上上 中 村 三 南 藤 日 辰

上上 坂 田 五 八 齋 齋

上上 中 村 大 右 市 齋 齋

上上 坂 田 中 三 市 中 村 石

上上 坂 田 德 十 市 齋 齋

上上 中 村 五 日 辰

上上 坂 田 石 次 齋 齋

上上 坂 田 石 齋 齋

上上 坂 田 石 齋 齋

上上 坂 田 石 齋 齋

上上 坂 田 石 齋 齋

上上 坂 田 石 齋 齋

上上 坂 田 石 齋 齋

上上 坂 田 石 齋 齋

上上 坂 田 石 齋 齋

日 辰 市 川 絶 石 為 日 辰

中 村 津 多 石 為 中 村 石

松 本 大 七 日 辰

之 國 富 士 又 市 日 辰

中 村 三 南 藤 日 辰

坂 田 五 八 齋 齋

中 村 大 右 市 齋 齋

坂 田 中 三 市 中 村 石

坂 田 德 十 市 齋 齋

中 村 五 日 辰

坂 田 石 次 齋 齋

坂 田 石 齋 齋

坂 田 石 齋 齋

坂 田 石 齋 齋

坂 田 石 齋 齋

坂 田 石 齋 齋

坂 田 石 齋 齋

坂 田 石 齋 齋

坂 田 石 齋 齋

坂 田 石 齋 齋

齋 齋

日 辰

中 村 石

日 辰

日 辰

齋 齋

齋 齋

中 村 石

齋 齋

日 辰

齋 齋

齋 齋

齋 齋

齋 齋

齋 齋

齋 齋

齋 齋

齋 齋

齋 齋

齋 齋

上 中村傳又布 本村
正市川百合巻市一上市川表巻市

▲犯に散る車歌之部

上上 佐川彰九布 本村

上上 市川豊又布 中村

上 山下門田布 本村

▲若女歌之部

上上 中村富十布 中村

表巻のりよききりするたき表地物

上上 山下全地 本村

表巻のりよききりするたき表地物

上上 芳沢崎之助 本村

口まのりよききりするたき表地物

上上 岩井中四布 本村

りよききりするたき表地物

上上 中村豊 本村

りよききりするたき表地物

上上 沢川菊之助 本村

りよききりするたき表地物

上上 中村里好 本村

りよききりするたき表地物

上上 尾上多尺蔵 本村

りよききりするたき表地物

上上 沢川雄次郎 本村

りよききりするたき表地物

上上 小と川常巻 本村

りよききりするたき表地物

上上 尾上松之助 本村

りよききりするたき表地物

上上 坂田幸之助 本村

りよききりするたき表地物

上上 沢村秀川 本村

りよききりするたき表地物

上上 小武ア 本村

りよききりするたき表地物

上上 小武ア 本村

りよききりするたき表地物

世 五

上上 瀬川 次 吉田

情知しあふまじ上の子が白く

上 市川 辰彦 市川

市川 辰彦 市川

あいきさつといのりあは神のまじり

上 中村 必を希 中村

上 中村 万 在 日彦

上 山下 全彦 市川

正 山下 八表 上より次彦代中

正 巽井 孝八表

▲ 若尻 政之部

上上 市川 門之助 吉田

上上 佐の川 市松 市川

上上 坂東 彦之部 日彦

上上 市川 辰彦 市川

上上 市川 辰彦 市川

上上 市川 辰彦 市川

つらくはまのりか他例

上 大谷 他 市 上 大谷 永 中

▲ 子 役 之 部

中 村 七 之 希 中 中 村 修 彦 中

中 村 彦 希 希 市 川 辰 彦 日

大 谷 彦 日 一 坂 東 百 彦 日

一 坂 東 全 彦 日 一 市 川 辰 彦 日

一 あ 一 秀 彦 日 一 大 谷 永 彦 日

一 市 川 辰 彦 日

一 巽 井 世 松 市 一 市 川 辰 彦 日

一 大 谷 彦 日 一 次 村 辰 松 日

一 市 川 市 彦 日 一 巽 井 辰 彦 日

一 市 川 五 彦 日 一 坂 東 全 彦 日

一 市 川 辰 彦 日 一 中 村 千 彦 日

一 市 川 辰 彦 日 一 中 山 伸 彦 彦

一 坂 東 彦 日 一 巽 井 彦 日

一 市 川 辰 彦 日 一 坂 東 彦 日

一 市 川 辰 彦 日 一 巽 井 彦 日

をさざりし事うまきとて自ら言ふ事
後世の事かきしりてある事かきしりて
ある事かきしりて

上上 ① 沢村信又希 希賢

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

上上 ② 松本小次郎 希賢

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

▲ 歌役之部

上吉 ③ 坂田才次郎 希賢

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

上吉 ④ 中嶋甚太郎 希賢

因はるにむすむのまゝにむすむを
てらむる事なり

いふ事ありては、市川絶たぬ、
しる事ありては、市川絶たぬ、
しる事ありては、市川絶たぬ、
しる事ありては、市川絶たぬ、
しる事ありては、市川絶たぬ、
しる事ありては、市川絶たぬ、
しる事ありては、市川絶たぬ、
しる事ありては、市川絶たぬ、
しる事ありては、市川絶たぬ、
しる事ありては、市川絶たぬ、

上上 一回 市川絶たぬ、
市川絶たぬ、

上上 中村は多分、
中村は多分、

上上 松本丈七、
中村は多分、

上上 中村は多分、
中村は多分、

上上 市川絶たぬ、
中村は多分、

上上 中村は多分、
中村は多分、

上上 中村は多分、
中村は多分、

上上 市川絶たぬ、
中村は多分、

上上 中村は多分、
中村は多分、

上上 市川絶たぬ、
中村は多分、

上上 中村は多分、
中村は多分、

上上 市川絶たぬ、
中村は多分、

上上 中村は多分、
中村は多分、

上上 市川絶たぬ、
中村は多分、

上上 中村は多分、
中村は多分、

上 坂東吾次 吉田元

上 ① 沢村辰秀 日左

上 ② 市川徳秀 中村元

上 ③ 中村辰秀 吉田元

上 ④ 中坂東利相秀 日左

⑤ 上 坂東辰秀 日左
⑥ 上 坂東辰秀 日左
⑦ 上 坂東辰秀 日左
⑧ 上 坂東辰秀 日左
⑨ 上 坂東辰秀 日左
⑩ 上 坂東辰秀 日左
⑪ 上 坂東辰秀 日左
⑫ 上 坂東辰秀 日左
⑬ 上 坂東辰秀 日左
⑭ 上 坂東辰秀 日左
⑮ 上 坂東辰秀 日左
⑯ 上 坂東辰秀 日左
⑰ 上 坂東辰秀 日左
⑱ 上 坂東辰秀 日左
⑲ 上 坂東辰秀 日左
⑳ 上 坂東辰秀 日左

▲道外飛之部

上上 ① 嵐 嘉八 吉田元

上 ② 大谷徳次 中村元

上 ③ 中村傳又部 吉田元

④ 上 中村傳又部 吉田元

▲初に初者軍飛之部

上上 ① 佐川新五郎 市川元

上 ② 市川徳五郎 中村元

▲若女飛之部

至極上 ① 中村笛十郎 中村元

② 上 中村笛十郎 中村元
③ 上 中村笛十郎 中村元
④ 上 中村笛十郎 中村元
⑤ 上 中村笛十郎 中村元
⑥ 上 中村笛十郎 中村元
⑦ 上 中村笛十郎 中村元
⑧ 上 中村笛十郎 中村元
⑨ 上 中村笛十郎 中村元
⑩ 上 中村笛十郎 中村元
⑪ 上 中村笛十郎 中村元
⑫ 上 中村笛十郎 中村元
⑬ 上 中村笛十郎 中村元
⑭ 上 中村笛十郎 中村元
⑮ 上 中村笛十郎 中村元
⑯ 上 中村笛十郎 中村元
⑰ 上 中村笛十郎 中村元
⑱ 上 中村笛十郎 中村元
⑲ 上 中村笛十郎 中村元
⑳ 上 中村笛十郎 中村元

① 上 中村笛十郎 中村元
② 上 中村笛十郎 中村元
③ 上 中村笛十郎 中村元
④ 上 中村笛十郎 中村元
⑤ 上 中村笛十郎 中村元
⑥ 上 中村笛十郎 中村元
⑦ 上 中村笛十郎 中村元
⑧ 上 中村笛十郎 中村元
⑨ 上 中村笛十郎 中村元
⑩ 上 中村笛十郎 中村元
⑪ 上 中村笛十郎 中村元
⑫ 上 中村笛十郎 中村元
⑬ 上 中村笛十郎 中村元
⑭ 上 中村笛十郎 中村元
⑮ 上 中村笛十郎 中村元
⑯ 上 中村笛十郎 中村元
⑰ 上 中村笛十郎 中村元
⑱ 上 中村笛十郎 中村元
⑲ 上 中村笛十郎 中村元
⑳ 上 中村笛十郎 中村元

高野山にありて其の勢いよくて其の
不中なる所を其の勢いよくて其の
なる所を其の勢いよくて其の


上上吉  中村中 境 香光

高野山にありて其の勢いよくて其の
不中なる所を其の勢いよくて其の
なる所を其の勢いよくて其の


上上吉  中村中 境 香光

高野山にありて其の勢いよくて其の
不中なる所を其の勢いよくて其の
なる所を其の勢いよくて其の


高野山にありて其の勢いよくて其の
不中なる所を其の勢いよくて其の
なる所を其の勢いよくて其の

上上吉  中村中 境 香光

高野山にありて其の勢いよくて其の
不中なる所を其の勢いよくて其の
なる所を其の勢いよくて其の

上上吉  中村中 境 香光

高野山にありて其の勢いよくて其の
不中なる所を其の勢いよくて其の
なる所を其の勢いよくて其の

上上吉  中村中 境 香光

高野山にありて其の勢いよくて其の
不中なる所を其の勢いよくて其の
なる所を其の勢いよくて其の

図は及公の... 聖徳の... ことば... 上上+

上上 楢 芳はいろは 中禁

図は及公の... 聖徳の... ことば... 上上

上上 尾上松之助 中禁

図は及公の... 聖徳の... ことば... 上上

上上 坂田幸之助 中禁

図は及公の... 聖徳の... ことば... 上上

上上 沢村宗川 中禁

図は及公の... 聖徳の... ことば... 上上

上上 ① 嵐山 小式部 市村

上上 ② 御門右次 市村

③ 市川辰彦 市村

④ 市川辰彦 市村

⑤ 市川辰彦 市村

▲ 市川辰彦 市村

上上 ① 市川門之助 市村

▲ 市川門之助 市村

上上 ① 市松 市村

▲ 市松 市村

▲ 市松 市村

▲ 市松 市村

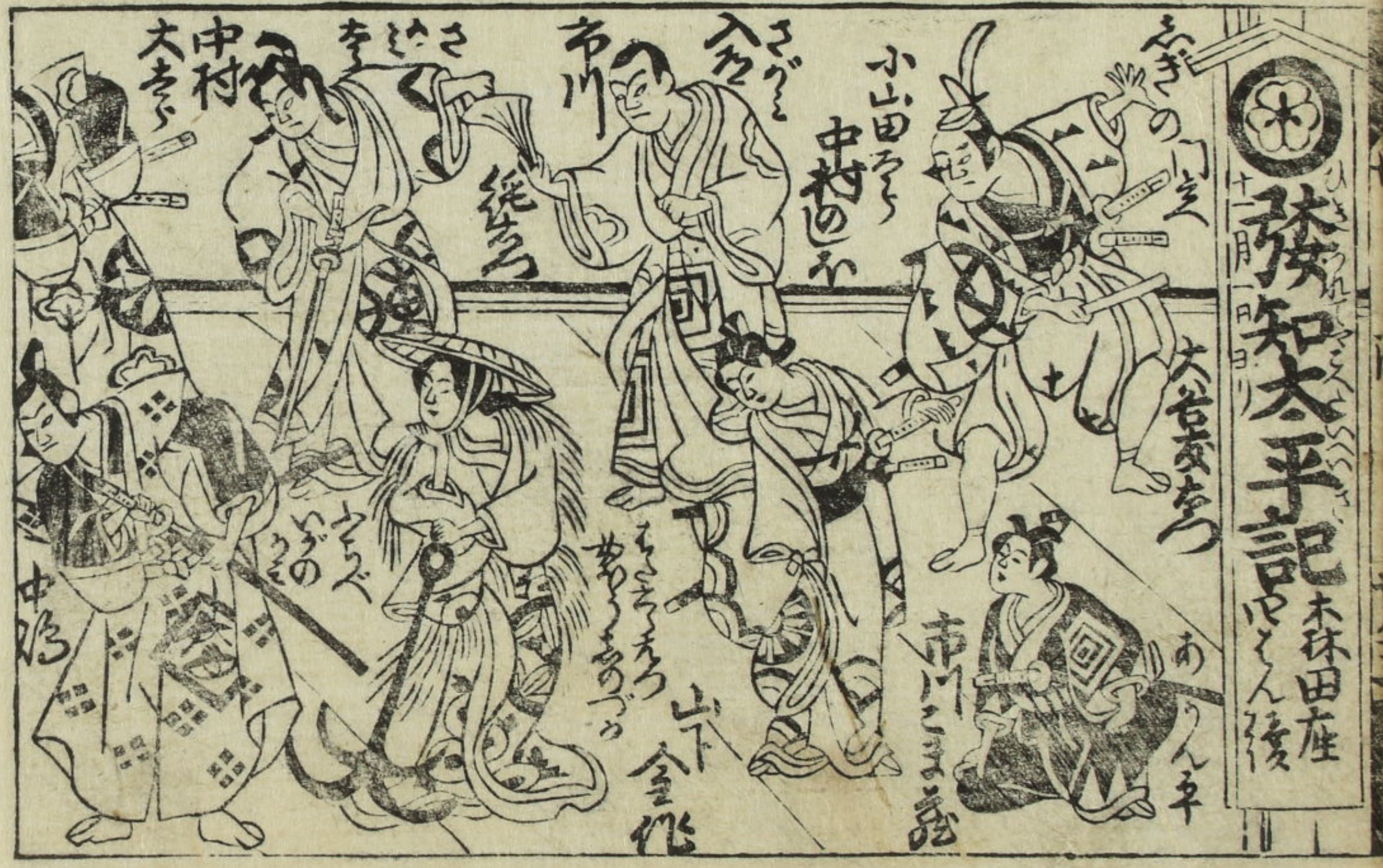
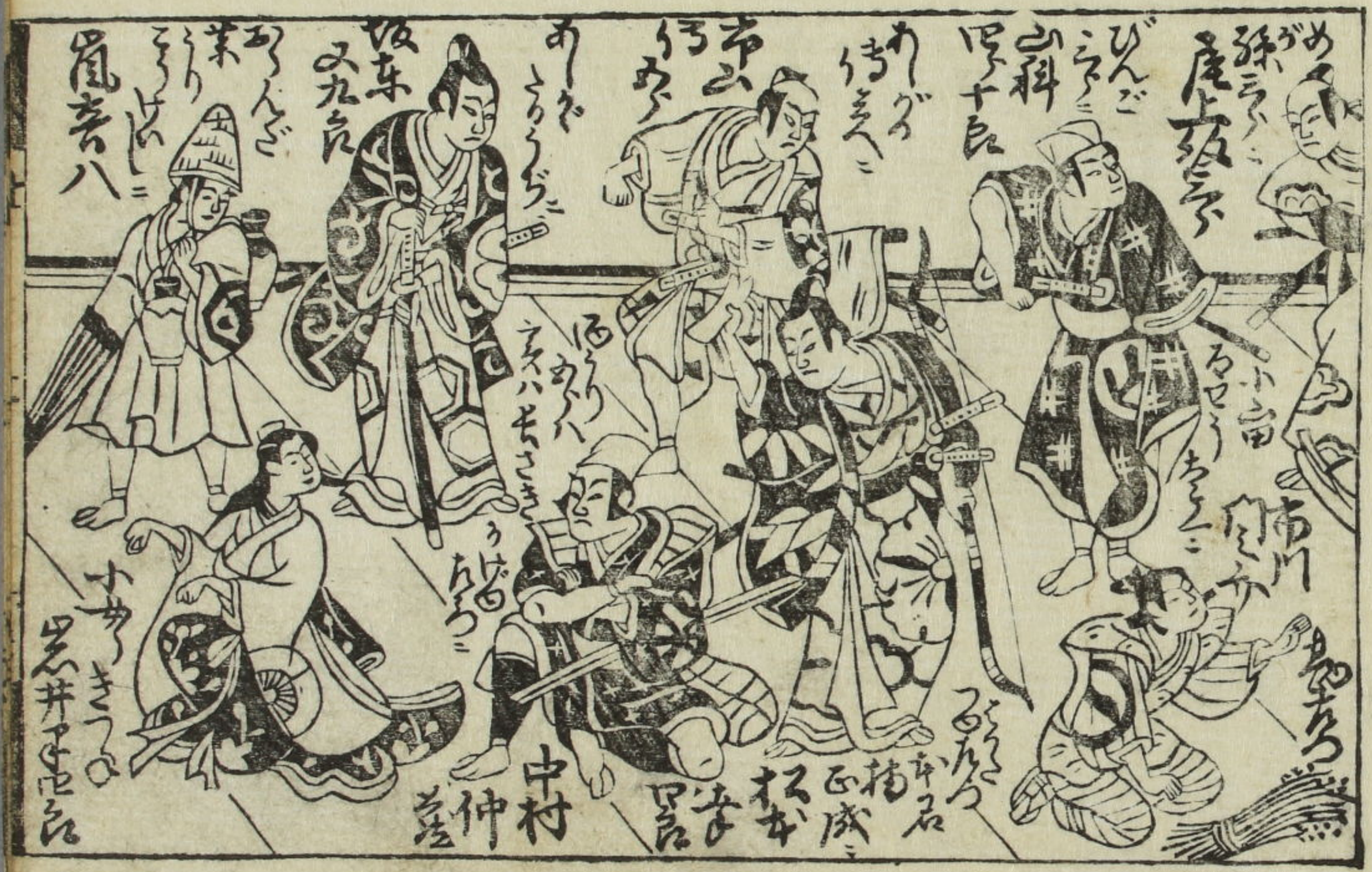
▲ 市松 市村

▲ 市松 市村

▲ 市松 市村

▲ 市村羽左衛門

▲ 市村羽左衛門



より此の地を以ては推しての如くは細く
うねりあるの如きは遠くも別々の如き
然るに此の地は其の如きと云ふは
幸の地也と云ふなり

上吉 市村海老

市村海老は其の地を以ては推しての如くは細く
うねりあるの如きは遠くも別々の如き
然るに此の地は其の如きと云ふは
幸の地也と云ふなり

上吉 飯東又九郎

飯東又九郎は其の地を以ては推しての如くは細く
うねりあるの如きは遠くも別々の如き
然るに此の地は其の如きと云ふは
幸の地也と云ふなり

市川海老巻二世代記の
り

○附録

市川海老巻二世代記の
り

市川海老巻 非名 九粒

市川海老巻は其の地を以ては推しての如くは細く
うねりあるの如きは遠くも別々の如き
然るに此の地は其の如きと云ふは
幸の地也と云ふなり

此の書は、
江戸の
老の
評書
出動

安永六回正月吉日

京二条通寺所

正平屋九条通板

京教所寺教下所

八文字屋八条通板

